



HOKKAIDO
UNIVERSITY

講義「人工知能」 第6回 AI関連ニュース

北海道大学大学院情報科学研究院
情報理工学部門 複合情報工学分野
調和系工学研究室 准教授 山下倫央

<http://harmo-lab.jp>

tomohisa@ist.hokudai.ac.jp

2024年4月25日(木)

❖ 生成 A I に国際枠組み、岸田首相が創設表明へ... 発信者明示技術の推進を支援

- <https://news.yahoo.co.jp/articles/9bdfd08e59b91f1c7be73eccbc809208eda89e69>
- 2024年4月24日 読売新聞
- 岸田首相は、5月上旬に開かれる経済協力開発機構（O E C D）の会合で、生成 A I（人工知能）の規律と活用の両立に向けた国際枠組みの創設を表明する。
- 40 か国以上の参加を見込んでおり、日本として国際ルール作りを主導する狙いがある。発信者情報を明示するデジタル技術「オリジネーター・プロファイル（O P）」の有用性を示し、社会実装を進めるための支援も打ち出す。

❖ ORIGINATOR PROFILE

- <https://originator-profile.org/ja-JP/>

- 2024年1月 Originator Profile 技術研究組合

- Originator Profile 技術研究組合（OP CIP）は、インターネット上のニュース記事や広告などの情報コンテンツに、発信者情報を紐付ける Originator Profile（OP）技術を研究開発します。

- OP CIP は、信頼できる発信元からの情報だとインターネット利用者に表示することで、デジタル空間の信頼性向上を目指します。

❖ ORIGINATOR PROFILE

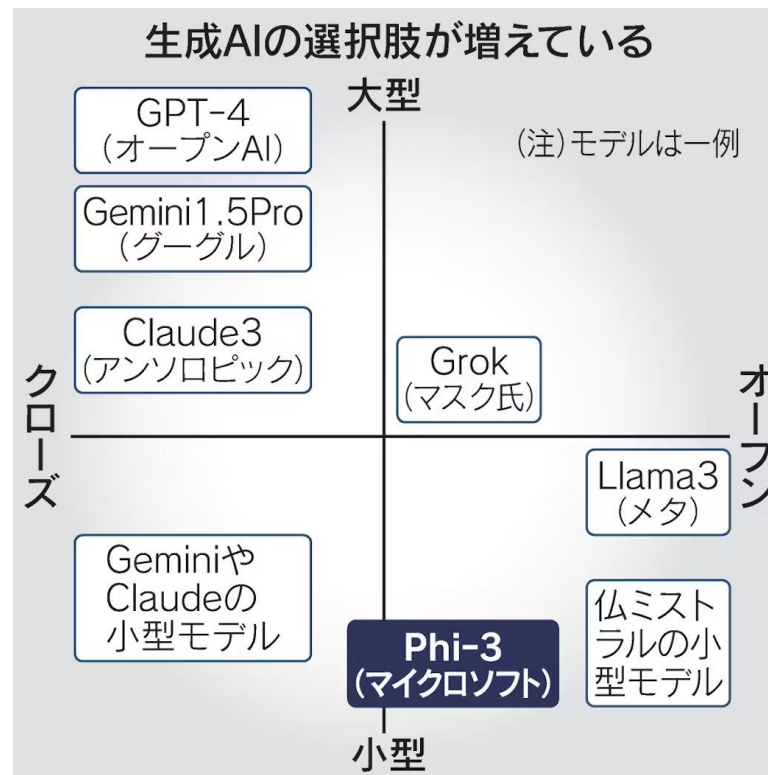
- <https://originator-profile.org/ja-JP/>
- 2024年1月 Originator Profile 技術研究組合
- Originator Profile 技術は安全なインターネット環境を提供するための仕組みであり、ブラウザなどで採用される Web 標準を目指しています。
- 情報コンテンツの作成者や配信サイト運営者、あるいは広告主といった、発信者の実在性と信頼性を確認できる情報を付与します。
- 作成者や組織名のような企業の基本情報に加え、例えば企業姿勢、編集方針、報道責任、編集ガイドライン、プライバシーポリシーのような信頼性に資する情報も含め、第三者による確認を受けた上で署名付きで付与し、ブラウザでの自動検証や認証アイコン付きで表示する仕組みです。

❖ 【今の生成AIの勢力図がわかる図解】

- https://twitter.com/masahirochaen/status/1783258880283398574?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Etweet
- 2024年4月25日 チャエン
- 精度がGPT-4にも匹敵するOSSのLlama 3が登場してから、OSSのLLMに再度スポットライトが 更に、小型化されたPhi-3も登場 GPUでなく、CPUで動く 軽量・高精度のLLMが今後もっと進化して、スマホ・ウェアラブルで高性能AIが使える時代ももうすぐ

❖ 【今の生成AIの勢力図がわかる図解】

- https://twitter.com/masahirochaen/status/1783258880283398574?ref_src=twsrc%5Egoogle%7Ctwcamp%5Eserp%7Ctwgr%5Etweet
- 2024年4月25日 チャエン



❖ 経済情報特化の生成AI、日経が開発 40年分の記事学習

- <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC1941R0Z10C24A4000000/>
- 2024年4月24日 日経新聞
- 日本経済新聞社は24日、経済情報に特化した生成AI（人工知能）の基盤技術を開発したと発表した。大規模言語モデルと呼ばれるもので、約40年分の日経グループの新聞や雑誌の記事を学習させた。記事の要約機能などで活用を見込む。
- 大規模言語モデルの名称は「NIKKEI Language Model」。性能の指標となる「パラメーター数」が130億と700億の2種類がある。日本経済新聞社の研究開発組織である日経イノベーション・ラボが開発した。

❖ 経済情報特化の生成AI、日経が開発 40年分の記事学習

- <https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUC1941R0Z10C24A4000000/>

- 2024年4月24日 日経新聞

- 日経イノベーション・ラボは19年に言語モデルの研究を始め、著作権上の課題やAIがもっともらしく嘘をつくハルシネーション（幻覚）の問題に対処する方法を探ってきた。
- 日経は「責任ある報道は人が担う」との方針を対外的に公表し、新聞記事の作成や編集に生成AIを用いていない。
- 23年11月に創刊したデジタル新メディア「Minutes by NIKKEI」では記事の要約や再構成にAIの技術を活用しているが、誇張や誤解が含まれないかを編集者が確認している。